

1. 件名：「浜岡原子力発電所3号機及び4号機の地震等に係る新基準適合性審査に関する事業者ヒアリング(103)、(136)」

2. 日時：令和3年3月11日（木）15時00分～17時00分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：内藤安全規制調整官、熊谷管理官補佐、佐口主任安全審査官、  
海田主任安全審査官、谷主任安全審査官、菅谷技術調査官、  
磯田係員、松末技術参与

中部電力株式会社：原子力本部 原子力土建部 執行役員  
中川原子力土建部長 他10名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

・浜岡原子力発電所 敷地の地質・地質構造（コメント回答）

※ヒアリング日程の変更のため、資料表紙に記載された日付とヒアリング開催日が異なっています。

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	はい。規制庁のスガヤです。お疲れ様です。
0:00:07	それでは浜岡原子力発電所敷地の地質地質構造、コメント回答のヒアリングのほうを始めたいと思います。よろしくお願いします。
0:00:20	中部電力アマンです。本日はご多忙中にもかかわらずヒアリング設定いただきましてありがとうございました。3月3日にヒアリングいただきました敷地の地質地質構造につきまして、
0:00:35	当社のほうで作成した資料の中で、なかなか我々が言いたいことが上手に欠けていない部分もございまして、記載のほうと適正化させていただきましてので今から変更内容についてご説明をさせていただきたいと思います。
0:00:50	およそ20分程度で御説明をさせていただきたいと思いますそのあと事実確認等よろしくお願いいたします。
0:01:00	自分の方から津波等でございます。すいません中部電力の森本です。
0:01:05	本日の資料右肩の番号が一応支援192R03になります。
0:01:12	前回からの変更点中心に御説明させていただきます。
0:01:16	大きい見直すとしては三つ保通でございます。まず一つ目ですけれども、
0:01:22	ページ244ページからお願いいたします。
0:01:28	こちらのページは4.3章、敷地深部の地質構造のまとめになります。
0:01:35	時表で見たL1断層系というのは、深部でどういう形態になっているのかというところと敷地周りは地層の後方回転が見られるということをそれぞれ調査データに基づいて検討結果のサンエーから3Fとして述べておりますけれども、
0:01:52	前回ヒアリングでナイトウさんのほうから、この両者が混在してまして、なにわの根拠になっているのかちょっとわかりにくいよというご指摘をいただいております。
0:02:03	ですので、次のページに追加いたしました枝番で244-2ページとなっております。
0:02:11	こちら244ページの記載内容の検討結果3平米から三役につきまして、地層の後方回転に関係するものを水色の箱で位置断層系の分布を深部方向の話について書いているものをクリーム色の箱で記載しております。
0:02:28	それぞれ根拠としているデータの1例とともにお示したものでございます。
0:02:33	主にこのうちH断層系の分布に関係する調査データクリーム色の検討結果3翠313mとしているものと3Cが浅い記録から浅部にはH断層系と関連する
0:02:49	と考えられる構造があるけれども深部にはないということ。
0:02:54	3位としては、

0:02:56	ボーリングで見ても深部の地層というのは連続していて、
0:03:00	その下 3 府運営新分野先ほど正定値断層系と同性状の断層は認められないと。
0:03:07	こういったデータをまずは使ってですね、次 246 ページをお願いします。
0:03:15	はい。
0:03:18	一番先の深部への連続性ということで、前回からお示しているスライドになりますが、この青箱の太字の部分、H断層系は浅部と同程度以上の落差時深部に連続していくものではないと考えております。
0:03:35	この一番前回は同程度以上の規模無くさと性状あわせて規模としておりましたが、このスガヤさん御指摘踏まえまして今回落差と改めております。
0:03:46	この部門はですね前日も御説明しましたが、冒頭のH断層系の評価方針の中で一番総理が震源断層に当たらないとする根拠の一つとしております。
0:03:59	性状については、このことは以降に書いておりますが、
0:04:03	° 程度以上被ばくセシウムに続いてかないということとはということですが、延伸部に当たる深部の地層にはH断層系と同性状の断層が認められないということも整合的だというふうな記載に改めております。
0:04:20	その下の白箱じゃあのH断層系どれくらいまで表層付近と同程度の落差を持っているのかというのを今回記載しておりますが、
0:04:31	地価構造との差から標高-300m以浅には 1 断層系との関連が考えられる構造があるのに対して、標高マイナス 300 から-400m以深深いところでの反射面というのは強く連続性が
0:04:46	いうことで、それと大深度ボーリング調査から 13Aから 1 億断層の延伸部では標高マイナス 300 から-400m付近の地層が大きな変位を受けることなく連続していることと、この二つを踏まえると、
0:05:02	敷地においては、時断層系というのは、競争から
0:05:07	標高マイナス 300 から 400m程度までは表層付近と同程度の落差を有するというふうに考えております。
0:05:15	このスライドツリー246-2 からですね一番先の分布範囲についてのスライドがございましてけれどもこちら後から説明しますので、一旦今ほど御説明したA断層だけは標高マイナス 300mから-400m程度までは、
0:05:34	表層付近と同じ程度の落差があるという調査結果を頭に置いていただいたままですね後段の
0:05:41	251 ページ。
0:05:44	から始まります。

0:05:47	1 断層系の活動機構の方を説明させていただきます。こちらの中身の 255 ページをご覧ください。
0:06:03	一番その活動機構まず形成は一体だということを説明しているスライドになりますが、
0:06:09	上の白箱と 1 ポツ目 H 断層系は導線数同型車道落差で等間隔の
0:06:17	断層だという、浅部の調査データでございますということと、
0:06:23	2 ポツ 3 ポツのところに書いているのが、H 断層系と後方回転との対応関係でございます。
0:06:31	この三つのポツのないようを根拠として、下の箱 1 断層系というのは一体で動いたんだという評価をしておりますけれども、
0:06:42	この上の箱に書いてある 2 ポツと 3 ポツの H 断層系と後方回転との対応関係というのを説明したのが、
0:06:50	この一つ前のページ、今回追加した 254-2 というページになります。
0:07:03	こちらのページの上の
0:07:07	太字が先ほどのページにポツの内容へと下の太字が 3 ポツの内容になります。
0:07:14	まず側なこれは深度方向の話です。
0:07:18	一番措置は表層から標高マイナスからマイナス 300 から -400m 程度までは表層付近と同程度の落差があると。
0:07:26	いう先ほど 246 ページで御説明した内容これと湖北回転というのは、標高マイナス 200 からマイナス 400m に限って認められるというの深部の
0:07:38	踏査結果、これは踏まえると、
0:07:41	時の部分になりますが、
0:07:44	H 断層系が表層付近と同程度の落差を有する深度というのと、地層が後方回転している深度というのは概ね対応しているというものです。
0:07:53	次下側ですけれどもこの平面方向の話。
0:07:56	1 断層系は海と陸 14 本を市立とこの沖合で確認しているという事実と、
0:08:04	その範囲の地層の平仄というのは、後方回転しているという事実、これは踏まえると青字のところになりますが、
0:08:13	1 断層計画することを確認した範囲平面方向のことですけれども、この範囲の表層付近は、
0:08:21	後方回転していると言えます。
0:08:24	今深度方向にはお互い対応関係にあることを確認していて各方向では単相確認している範囲では必ず地層が回転することを確認しているという関係になります。

0:08:37	また、255 ページのほう戻っていただいて、
0:08:42	こういった事実を踏まえると、このスライドの右側にH断層系の断面図をトレースして作成した図がございますが、
0:08:51	いつ断層系というのが重力性の引張力が働いて、その場が
0:08:56	変形する際に、断層ブロック間の相対運動によって、
0:09:01	／が変形したことによって形成されたと考えられますけれども、
0:09:06	赤字の部分になりますが、この際にすべての断層が一体として活動、要はすべての断層間努力が一体として改定しないと。
0:09:15	bar自体は幾何学的に引っ張り変形できないということから、すべての断層が一体で活動したと評価しております。
0:09:24	こういったところが結果的にどんな法律として海外中心によく知られた臨床でそういった現象についての知見の中でも同時に動くとされていると。
0:09:34	というのが後段で説明している内容になりますが、まず当社として、敷地の中の調査結果だけでも痛い活動については十分入れているというふう考えられて考えております。
0:09:47	以上が主要な変更点が一つ目でございます、一番最近の新聞方向の範囲
0:09:54	分布範囲等地層が後方回転の対応関係を
0:09:57	整理した上で、
0:10:01	上での我々の評価内容でございます、
0:10:05	前回ご指摘いただいておりました一体活動の根拠についてもですね 255 ページで観察事項をもとに作成した図を使った説明を加えさせていただきました。
0:10:19	続いて二つ目の変更点になります、各図 50 ページ使ってちょっとまず、
0:10:27	御説明させて、
0:10:29	いただきます。
0:10:32	先ほどまでも 4.43 中身をちょっと触って御説明させていただいておりましたが、この 4.4 章全体としては、
0:10:40	H断層系はどの断層で活動性評価してもいいんだというコメント回答の
0:10:45	こうやっている章になります。このスライドはその概要を示した。
0:10:51	一方でございます。
0:10:53	先ほど(1)のH断層系の活動機構、一体で活動する機構を持つという巨視的な検討に関するスライドを説明しておりましたけれども、
0:11:04	大型の微視的な検討として、(2)(3)(2)は形成時期の関係、それから(3)が再活動の
0:11:13	というタイトルで形成は同時期だということと、再発をしていないということを説明して、

0:11:20	おります。
0:11:21	この辺りの考え方について、前回ヒアリングで御質問いただきますって。
0:11:27	私の受け答えもあまりよくなくてですねあまりかみ合わない部分がありましたので、
0:11:33	487 ページにこの章の結果、
0:11:38	まとめると。
0:11:41	ございます。
0:11:43	まとめのスライドの後、今回枝番ですでに 187-2 として、
0:11:50	新しいスライド弊社としての考えをまとめたスライドを追加してきました。
0:11:57	その 287-2 の内容ですけれども、拳手的な検討微視的な検討として、
0:12:03	それぞれ結果として何を言ってるのかを書いてます。
0:12:06	まず上側、先ほどご説明した活動機構巨視的な検討についてですけれども、断層の形態という観点で見ると、この
0:12:17	ちょっと年 2 票みたいなところの赤の部分ですが、映像南西まず最初は一体で活動したと思われておりますで青い部分の仮にということになりますけれども仮に再活動していたとしても、一部だけ動くということではなくて一体で動く。
0:12:35	いうことを五つの断層の形態ですとか、どのような法律のインバージョンテクニクスの事例なんかを使って説明しております。
0:12:44	続いてしたら、形成時期の関係で再活動の有無について微視的な検討として、断層の性状を中心に見てやると。
0:12:53	まず赤い部分ですけれども、
0:12:55	ドーナツも最初は限られた期間、すなわち同時にできていて、そのあと青字の部分、再活動しているかという観点で再活動していたら見られるであろう痕跡をいろいろ探しましたがけれども、そういった痕跡は全くないことを確認しています。
0:13:12	以上の拠出的えびす的な検討から活動時期はすべての断層で同じということの評価しております。
0:13:19	この辺りは前回のヒアリングでうまく説明できておりませんでしたので今回概念図として補足的にまとめさせていただきました。
0:13:30	このいずれの断層の再活動していないという根拠の一つとしてですね 284 ページ。
0:13:37	のスライドを使って、前回は複数回活動した断層に見られる性状ないとしておりましたけれども、
0:13:47	複数個だとか 1 回動とか誤解を招く記載でしたので、
0:13:52	形成後、要はサイトに動いたと、繰り返し活動した履歴を持つ断層、

0:13:59	記載を改めまして、そういった断層に見られる性状はないという見直しを行っております。
0:14:07	以上主要な変更点の二つ目です。最後三つ目ですけれども、
0:14:14	前回ナイトウさんから1断層系の平面方向の分布範囲についての御発言があったかとは思いますが。スガヤさんからも、過去の資料、／載せましたが、前回871回の補足説明資料、
0:14:29	でしたので、過去の資料にも東西に3kmという記載があるという御指摘をいただいております。
0:14:35	この分布範囲について、
0:14:38	弊社の考えというか評価がですね。本編資料の中にはありませんでしたので、そのあたりを今回追加しています。
0:14:46	スライドの位置としてはず。
0:14:49	245 ページ。
0:14:58	これ代取スライドになりますが、
0:15:01	4.1 から 4.3 で一番先の分布形態性状、それから深部構造の調査結果を示していますがそのあとになります。
0:15:12	次のページで、以前から出している調査結果のマトリックス網羅的なマトリックスを示した上で、
0:15:20	246 ページ、まず先ほどご説明した深部方向への連続性について述べた後から持って持ってきてます。先ほど後から説明しますといった部分です。
0:15:32	ページ番号で言うと 246-2 ページから 5 ページになりますが、
0:15:38	246-5 ページが、
0:15:40	まとめるか全体像になりますのでまずこちらのスライドで、
0:15:45	説明します。
0:15:47	引佐系というのは汀線と平行な断層群として敷地の中で確認しておりますけれども、
0:15:54	汀線方向、汀線と直交する方向。
0:15:58	には、
0:15:59	海側には汀線から 2km 程度陸側には
0:16:04	汀線から 3km 程度の範囲については存在する可能性というのは、
0:16:09	必要ありませんけれども、少なくともその範囲より外側にはないというふうに考えております。
0:16:16	続いて汀線方向に見てみますと、御社事項中心に 3km 程度は敷地内で確認できている断層というのも連続する可能性というのは否定できませんけれどもそれより外側には分布しないというふうに考えております。

0:16:36	その根拠をですねそれぞれ 246-2 ページから順番にちょっと示しております。
0:16:43	まず 246-2 ですけれども、汀線直交方向の南側へと海側のほうをですね。
0:16:51	これ以前から示しております。音波探査データ、
0:16:56	反射面が保険いける右寄り先では連続していることをもって、こっから先には H 断層系はないというふうに考えているというものでございます。
0:17:07	記載としては 4.1 の中にもともと入れている内容です。
0:17:12	次 246-3 になりますが、今度反対が陸側、
0:17:18	汀線鉛直方向の北側のほうですけれども、
0:17:23	残作業の活動機構という先ほどご説明した内容を踏まえますと一関というのは断層間ブロックの回転運動に伴ってできたと考えられますので、
0:17:33	その範囲の北限を持って評価しております。
0:17:38	海側のように、右側にプランジした向斜構造がこの地域の大局的な構造になりますので、そういった中で後方回転が生じていけば、層理面というのが平面図を見直しタニしてみればですね。
0:17:56	敷地内の
0:17:58	その後継者のマークがそうであるように、カタカナの
0:18:02	同じ火山で話が逆方向カタカナの話が逆方向向いているような層理の形をしますけれども、
0:18:11	どこの範囲が北側、どこまで続いていくのかと追いかけていくと、赤の破線で示した辺りで、通常の話の方向に戻ってくると。
0:18:20	このラインを持って時断層もここがほふりんだという評価をしております。
0:18:26	続いて 246-4、今度は汀線方向になります。
0:18:32	スライド左側の図になりますが、反射断面と大深度ボーリングに認められる断層の検討結果との
0:18:41	対比を行ったものを図を載せてます。
0:18:45	連続性の影響反射面が認められる深部の地層というのは砂岩比率の高い相良層に当たりますけれども、このしんどいんでは 1 断層系統同性状の断層は認められないことなどを踏まえますと、
0:18:59	一段総研による地層の変位というのは砂岩比率の高い探そう内で収束して、
0:19:05	断層は砂岩比率の高い相良層より下位には延伸していないと考えられます。
0:19:11	またスライドの右側の図になりますが、
0:19:14	その市さんの高い探そうどういった分布してるのかというのを示しております。
0:19:19	汀線方向の断面を示しておりますが、向斜軸を中心に約 3km の範囲に分布しておりますので、H 断層系は、



0:19:27	その範囲を超えて東西方向に分布していないものと推定しております。
0:19:34	／kgという数字がスガヤさんからの御指摘いただいた前回の会合資料に載っている。2 から 3kmの 3 キロにあたる数字です。
0:19:44	愛ちゃんする範囲というのを狭く見積もれば砂岩比率の高い相良層の上位面ということで、
0:19:50	2kmという数字もあるの 2 から 3kmとしておりましたが今回広くてもいいというか長くても 3kmということで、
0:19:59	3kmという数字を示しております。
0:20:01	以上まとめたものが 246-5 ページでございます先ほどのページです。
0:20:09	汀線直交方向汀線方向の分布範囲、先ほどまで御説明しましたが、ここから先には一番総計というのは分布しないと。
0:20:17	表結果を持って平面図を青色の境界線というのを引いております。
0:20:23	この中に時断層系分布しているものだというふうに考えております。
0:20:29	このスライドを 3 枚、
0:20:32	4 枚ほど追加したというのが時へこん点の三つ目。
0:20:37	ですね分布範囲についての考え方を整理して資料化してきたというものです。
0:20:42	以上三つが前回からの変更点でございます。説明は以上です。
0:20:54	はい。規制庁のスガヤです。
0:20:56	御説明ありがとうございました。
0:20:58	こちらの方から
0:21:01	確認の方させていただきたいと思います。
0:21:59	規制庁スガヤです。
0:22:00	ちょっと私のほうから最初にちょっと確認させていただくんですけど、本体の
0:22:06	A383 ページ、後ろから 2 枚目のページですかね。
0:22:17	ここにはですね、H断層系の活動性評価のまとめってということがこうフローって いうか、流れ図見たいな感じで書いてあってですね。
0:22:28	ちょっとこれ私、前もっちゃって確認させてもらったかとは思いますがもう 1 回おさらいの意味でこうずっと行為かけてみると一番上の箱書きのところがですね、H断層系の評価方針っていうふうにして書いてあります。これっていうのはその下の 4.1 とか 4.3 から
0:22:47	矢印が引っ張ってあって、多分御社のほうでこういうふうにして評価したいんだ ってことが書いてあるのかなっていう
0:22:56	あれで読んでいってみると、その中の文章っていうのはどちらかというと、こ ういう評価をしましたっていう中概要が書いてあるような気もしなくもないんです

	けれどもちょっと言葉じりとするようで申し訳ないんですけど、このH断層系の評価方針っていう
0:23:10	そのタイトル込みダストその中身のあれがちょっとマッチしてないのかなっていう気がしますと例えばですね、
0:23:18	おっきな文章としては二つぐらいあるんですかね、冒頭の部分はほんならに該当しないことを確認した。
0:23:26	一番最後のほうは、
0:23:30	活動性を評価した。
0:23:33	ていう感じでなんかこう、こうしましたっていうことが書いてあるような気がするんですけども、ちょっとそこは
0:23:41	確認していただければと思います。
0:23:48	はい。時電力のモリモトでございます。スガヤさんの御指摘承知いたしました。ちょっとその記載のほうは見直させていただきますが、このここで言ってる内容としては、資料でいうと、
0:24:01	40 ページから 42 ページに渡って 3 ページで書いてる内容です。ちょっと 30 と詰め込んだ関係でですねちょっとわかりにくくなっているのかなというところと、あと
0:24:17	スタートにちょっと過去定員みたいになっちゃってですね方針として読みづらいところもあるかと思しますので、その辺りは直させていただきます。
0:24:29	はい。規制庁スガヤですはいすいませんお願いします。に多様な多分ページがほかにも確かあったような気もするので、それもあわせて確認してください。同じページで
0:24:40	スターの方にですね 4.3 の箱書きがありますね、4.3、敷地深部の地質構造に関する調査結果って、
0:24:50	あるんですけども、その中読んでいくと浅部に認められる断層間ブロックの後方回転を伴う断層群は深部では認められず、地層の後方回転も収束していき、
0:25:03	断層の規模も小さくなっていくって書いてあるんですけども、
0:25:07	これ断層の規模も小さくなっていくっていうのは具体的には、
0:25:12	その規模っていうのを超える落差のことってんですかね。
0:25:16	何か 4.3 のところに書いてある内容と、この最後の断層の規模も小さくなっていくっていうところがちょっとマッチしてないような気がしたんですけども、確認させてください。
0:25:29	はいモリモトです。ここの 4.3-400 ということで書いてますが、ちょっと中身で言ってることを当町してないかと思えます。規模というのは前回は御指摘ありましたが、我々のアクサのところメインでいい。

0:25:46	出ますし、
0:25:47	その部分ここごめんなさい、修正ができてなかったかと思imasので、中身等々いつはかるような中身を約が適切にできるような記載に修正させていただきます。
0:26:03	はい。規制庁スガヤですはいすいませんお願いします。
0:26:07	ちょっと飛び飛びになっちゃいますけどもちょっと細かいですけども確認していきます。94 ページをお願いします。
0:26:16	94 ページは、露頭観察を行った露頭ボーリング孔位置図ってということで、今回あの敷地の境界線を入れていただきました。
0:26:26	ちょっと
0:26:28	確認だけなんですけれども、BF4 トレンチってというのが北のほうにありますね。
0:26:34	紙面の方でいうと上ですね、H級のところ、
0:26:37	でBF4 地点ってというのは、西トレンチ北トレンチ南トレンチ①っていう、この三つを総称してBF4 トレンチって言うてたわけ、ちょっと確認です。
0:26:53	BF4 件ですね、すみません失礼しますはいはい。モリモトです。この三つBF4 地点という、
0:27:02	ある程度範囲を持ったエリアにおいて、この三つのトレンチをやっているというものでございますので、スガヤさんのおっしゃる通りです。
0:27:11	はい。規制庁生活わかりましたそれとB、この三つのトレンチのうち西トレンチってというのは敷地の中にありますっていうそういう理解でよかったですかね。
0:27:25	中部電力オオミナミです。その通りですね西トレンチだけはなし。社有地という敷地内に入っております。
0:27:32	はい。規制庁スガヤです。わかりました。
0:27:35	あと、212 ページすいませんお願いします。
0:27:44	212 ページは、これもちょっとこの間私確認させてもらってサグチの方も確認しておりましたけれども、
0:27:54	上の箱書きのところにポツが四つあって、一番下のポツ海底面付近の反射面は深部の反射面に対して相対的に
0:28:04	より北側括弧陸側へ傾斜する傾向が見られるっていうふうにして書いてあって、この
0:28:11	解釈の線を入れてくださっています。
0:28:15	で、ちょっと私、

0:28:17	若干まだちょっと掴みきれてないところがあるので確認させていただきたいんですけど、この最後のポツの4ポツ目の所相対的に北側へ傾斜する傾向が見られるっていうのはちょっと言葉を変えると。
0:28:32	深いところよりも浅いところの反射面の面がですね、
0:28:38	両者の傾斜を比較すると浅いほうが傾斜が緩くなってるとっていう、そういう見方でいいんですか。
0:28:47	ありがとうございます。おっしゃる通りです。相対的に記載のほうに回っているというもので、
0:28:55	ちょっとここだけだとわかりづらいんですけど陸域のほう、
0:28:59	もう未遂
0:29:02	目といますか。
0:29:05	陸域の表層部分は
0:29:10	陸側傾斜になっていって、ページで言いますと、どこだろう。
0:29:23	別に124ページG、
0:29:27	だとあまり区域についてはわかりやすいんですけども、
0:29:31	陸域、この図の
0:29:34	左上のところは特にそうですね
0:29:38	どうもマークが
0:29:41	陸側を見てます一方で、深いところに行くと、右側のほう向いてると。
0:29:47	いうものでしてここの陸の記載というふうな記載まあちょっとトーン同じに合わせようとしてですね、ちょっと
0:29:55	読み方が逆にわかりにくい。
0:29:58	記載になっちゃったのかなとは思いますが、
0:30:01	この212ページを見んところで見ただけ見てですね言ってるところはスガヤさんおっしゃる通りで、赤いところ急ないけんが傾斜だとはゆるい右が傾斜に変わっているということを行っています。
0:30:20	はい。規制庁スガヤですはいわかりました。
0:30:25	あとですね。
0:30:35	すみません、375ページをお願いします。
0:30:47	ここは
0:30:48	D層の基底で昨日形状の退避っていうことで、3地点の分析されている結果っていうのを
0:30:57	日でこう合わせてくださっていますけれども、この一つ一つのポツが多分、サンプルだと思うんですけども、ちょっとお願いなんですけれども、サンプルの数っていうのを

0:31:13	図中のどっかに入れておいていただきたいんですけど、よくn=幾つとかって書いてあると思うんですけども、
0:31:20	こういう図がですね他のもう1ヶ所くらい確か図が似たような図が出てたと思うので、ちょっとそこにも
0:31:29	幾つサンプル数があるのかっていうのをちょっと明記していただきたいと思いますが、
0:31:34	いかがですか。
0:31:37	はい。モリモトです。招致+Cました。
0:31:45	ちょっと遠くて恐縮なんですけど、375 ページの左下のほうにですね。
0:31:55	データっていうのはこっから持ってきたよっていう※2 の注釈があります損失ではないこととか書いてたりするんですけども、
0:32:04	ちょっとグラフの中にですね
0:32:07	母数としてわかるように示させていただきます。
0:32:12	戸籍としてハウスコムこういう球形度を示してるデータの中に、
0:32:19	母数を入れるという、理解でよろしいでしょうか。
0:32:24	規制庁スガヤです。すいません。わかればいいので別に図の中にじゃなくても図の下でも却町のあたりですかとかにでもいいですすいません数がわかれば結構です。
0:32:37	はい、承知いたしました。
0:32:51	規制庁スガヤです。あともう1点なんですけれども、1 ページ目見ていっていただきたいんですけども、
0:33:01	コメント一覧になってますんで未回答部分の外リストされていて、
0:33:09	コメント番号の 88 番の方。
0:33:12	なんですけれども、
0:33:16	これに関しては補足の 2 相見てくださいっていうふうにして書いてあって、
0:33:20	ちょっと補足のほうを見たいと思うんですけども、
0:33:26	補足の
0:33:31	17 ページ、18 ページ。
0:33:38	ちょっと確認させていただきたいんですけども、
0:33:42	大深度ボーリングのところでも深いところの
0:33:46	地層混交たいが、
0:33:48	柱状図の記事欄に書いてあるよねっていうことで、それはどういうふうにして理解されてるんですかって言う事でその解釈をですね、右側に箱書きで追記して下さっています。書いて下さってます。

0:34:02	これ確か石渡委員とか会合の多分最後のほうで聞いたことに対しての回答だと思いますけれども、サグチのもちらっと思ってたと思うんですけども、
0:34:13	回答だと思います。解釈のところに 12345 ポツが書いてあって、
0:34:21	最後のポツのところにこれらのことから本構造は堆積時の構造幅を持たない小断層及び掘削採取時のコアの乱れによるものと解釈するって書いてあるんですけども、
0:34:36	幅を持たない小断層、
0:34:39	ていうのは、
0:34:41	サンプルのことを言ってるのかなっていうふうにして思ったんですけどもただ一方で3ポツではですね幅を持つ断層と解釈するが、幅、断層幅 5cmに満たないっていうふうにしても書いてあってですね。
0:34:55	これを小断層のこととしてんのかどうなのかっていうこととですね、あと、最後のポツのところですよ。
0:35:06	掘削採取時のコアの乱れによるっていう書いてあるんですけども、これがこう上のポツのところにもどこにも触れられてないような気がするんですけども、どういったお考えでこうなったのかなっていうのがちょっと掴めないと思ったんですけども、ちょっと確認させてください。
0:35:25	はい、中部電カマイでございます。ここにつきましては、もともとの地層混交たいというのが、この柱状図に記載されているんですけども、これは 420.3 から 423.56 ということで非常に
0:35:39	広い幅を痛恨交代と書いてあって、それらの者のコア写真のところの黄色い矢印の先生書いてあるところがすべて地層混交たいということで、当時の柱状図の判断をしたと。
0:35:50	ということでございますのでこの中には先ほどご指摘ありましたように4ポツ目の3ポツ目か。
0:35:56	一応断層あり方断層があるんですけども、幅 5cm満たないということでございます。
0:36:03	ここ前前回前々回のときの審査会合のときに説明しますけれども一応幅があるように言っても幅 5cmみたいなものはH断層系と同性状の断層でないというふうに評価していますので、ここにおきましては、一応、この 5cmみたいなということをもって、
0:36:19	幅を持たない小断層っていうふうに解釈したというのがまず一つあります。もう一つは血糖柱状図の中にもう1個出そうあり方断層、443.56 というところがございまして、
0:36:32	こちらの下の傾向写真力等の下の②番と書いてあるところでございます。ここにも幅を持たない断層っていうのがございます。こういったもの、これが二つを

	もって幅を持たない小断層っていうふうに 123 ポツ目では書かさせていただいております。
0:36:49	あとは 420.3 のところの乖離が断層のところで一応中実のところにはイマイとかサイト外っていう記載が一応書いてありますけれども、こういったところもですね。
0:37:00	これでぱっと見たところをちょっと角礫状の破碎とかが見えてますので、こういったものは掘削採取のコアの乱れということかということで、5 ポツ目は書かせていただいております。
0:37:13	言ったら今回のこのチョコレート隠すものすごく幅が広がってますね、なぜこれだけの幅を後退と当時の人が判断したかというやっぱりその
0:37:22	基礎がやっぱり新聞になりました佐賀と泥岩がちょっとまじったような構造が結構目指すようになってきておまして、
0:37:29	そういったものが良い砂泥がまじっているというような性状で当時の頂部でパソコン交代と書いておりますけれども、総額そこ全体にわたりましてですね、特に断層による平米流動変形だとかそういったものは見られないということで、この幅のほとんどは、基本的には堆積時の構造。
0:37:46	りあって、その中に日本ほど、幅野内小断層とごく一部に掘削採取のこの緑があるというように解釈をしているものでございます。以上になります。
0:38:01	はい。規制庁スガヤです。
0:38:03	はい。そうするとですね、
0:38:06	解釈のところの一番下のポツ、これらのことからっていうのは多分これらのことっていうのは上の三つをさせていると思うんですけど、
0:38:14	今のお話ですと、その左側の柱状図のところの破碎っていうところも持ってこられていたと思うので、そこもちゃんとこの解釈のところにそれを掘削とか採取時のコアの乱れだというふうにして考えてるのであればそうかいかないと、これらのことから繋がらないと思いますので、
0:38:33	そこはちょっと
0:38:36	整理していただければと思います。
0:38:39	一部電力リバイス承知いたしました。記載の適正化させていただきます。
0:38:45	はい。規制庁スガヤです。同じく 18 ページも、
0:38:49	ちょっとですね同じような確認なんですけれどもね解釈が真ん中のところに箱書きで書いてあります。
0:38:56	やっぱりこれらのことからっていうふうにしてまとめられていて本構造は幅を持たない小断層及び掘削採取にコアの乱れによるものと解釈するって書いてあります。

0:39:13	幅を持たない小断層っていうのは、これ帰り型断層のことを今のお話だと言ってるのかもしれませんが、
0:39:20	あと、
0:39:23	コアの乱れとかっていうのは多分、三つ目のポツのこと言ってるんですかね。あと堆積構造のことはとめのことには書いてありませんけれども、そういったところ、この解釈のポツの内容とこれらのことからっていうところの結びのところもしたいのであればちゃんと書かなくちゃいけないと思いますし、そこら辺もあわせて整理していただければと。
0:39:46	はい、中部電力イマイです。承知いたしましたのこれらのことからというところをもう少し、その上のポツと合わせてですね、もう少し丁寧に記載のほうさせていただきますと思います。以上です。
0:40:02	。
0:40:03	規制庁サグチですけど、
0:40:06	ちょっと今のところで、記載の適正化されるというお話ですけど、
0:40:12	現在の少なくとも規制庁記載のところで、ちょっと確認をさせていただきたいんですけど、同じ 17 ページと 18 ページで特に 18 ページの
0:40:23	2 ポツ目のところには、はっきりとこれ以上の乖離型断層に挟まれたことであるんですけど、一方で、10、17 ページにはそういう記載がなくて、
0:40:36	ちょっと確認っていうかお聞きしたかったのは 17 ページっていうのは、
0:40:42	これ 200 の帰り型断層、
0:40:46	という
0:40:48	ものがそもそもないと解釈をされたのか。
0:40:53	つまり、一つは 40.
0:40:59	幾つでしたっけ、3 号のところを
0:41:05	幅を持つ断層と解釈するっていう何か断層は断層なんだけれども、少なくともこれは以上に
0:41:13	挟まれたというか、2 条の断層があるわけではなっていないよということを行っているのか。
0:41:21	単にその地層混交たイトウま一書かれているんだけど、ちょっとそこはもうちょっと見ると違うんで。
0:41:30	1 じゃないんだよと言っているのか、ちょっとそこが 17 ページと 18 ページの違い。
0:41:37	っていうのがちょっとよくわからなかったので、
0:41:41	あくまでも、18 ページというのは、2 条の
0:41:45	断層があることは、



0:41:47	間違いないという今書き方で、一方で 17 は 17 ページはそういう書き方されてないんで、ちょっとその違いつてどういうことなのか教えてもらえますか。
0:42:01	はい。中部のイマイでございます。まず 17 ページにつきましては、とにかく柱状図の記載でいくと、すごく広い範囲でちょっと今後具体的には書いてあって、
0:42:11	その上部と下部に管理型断層というのがまずあるというのがまず事実としてあります。
0:42:17	DB上側のカイダ断層につきましては、断層面だけではなくて、幅 5cm みたいですけれども、若干破碎部が見られるということでございますこれあの断層のみが一樣なんだけれども、その周りに若干の破碎から
0:42:31	というのが事実でございますんで、下側の断層はあり方断層利幅がに関する
0:42:37	この 2 条-A 断層に挟まれた間は、地層混交たいとは書いてあるものの、ここまで見る限り、全く健全な県側であるということもございますので、
0:42:47	ここ全体を持って測温交代と書いてありますけども、基本的にはこの間は県が無理だというふうに考えておりました、
0:42:55	上と下の断層はそれぞれ幅を持たない小断層だというふうに解釈をしたと。
0:43:00	というのが平日でございます。
0:43:03	一方 18 ページにつきましてははですね、こちらもあり方断層が人以上ありまして、その間が一部地層混交たいと。
0:43:14	買い方断層超えた範囲で測温答えていかれてございます。
0:43:19	こちらにつきましても個別に見ているんですけども、特に地層混交やっぱり抱えているところの断層性状がですね。
0:43:28	特にここの解釈の 2 ポツ目になりますけれども、
0:43:31	昨年はぱっと見その網目状の構造があるということなんですけれども、ここは他の 1 月の月報のように見られるようなですね、交流と断片超過立状が見られない。
0:43:43	ということでございましてここはもう基本的には網目状構造はあるものの、堆積構造を保持しているというふうに判断したということで、静聴的には H 断層系の性状には当たらないというふうに考えて評価したと。
0:43:57	ということでございます。
0:44:00	もその下にですね、これ C のところの 522m からもう少し者のところに矢印でコピーあるところでございますが、こちらにつきましてははですね、この両方の境界が
0:44:15	ほとんど垂直な面で言われていて、不均一漏れているということからここに関しましては、基本的に掘削最終値のコアの乱れというふうに評価をしたと。
0:44:25	いうものでございます。

0:44:27	解釈といたしましてはそういったことを解釈しております、17 ページと 18 ページでパッと見たところ、断層名買い方岩相が二つあって、その間ないしそういう声を超える範囲が地層混交体と書いてありますけれども、個別によく見てみると、今回のような解釈になるというふうに考えてございます。
0:44:46	以上でございます。
0:44:51	はい規制庁サグチですけども。なので結局 17 ページも 18 ページも解釈としては同じで、まああのボーリング柱状図にはこう書かれていて、一見すると、H断層と同じようなものじゃないかって見えるんですけども、
0:45:08	よく見てみると、層厚たいと言われるものがいわゆるその地層混交体ではなくって、結局、断層は断層なんだけれども、小さい断層が二つ。
0:45:23	ある。
0:45:25	だけであって、2 条でその間に裁量物質等を 2 が挟まっているという、いわゆるH断層の性状等が違いますよと、そう、まあ解釈されたということでよろしいんですね。
0:45:42	はい、中部電カイマイさん。その通りでございます柱状図の記事だけ見せようと、加熱や総計と同じような記事になっておりますけれども、そこはコア写真をよく見た上で、そうではないということで解釈しているというものでございます。以上です。
0:46:17	規制庁のカイダです。
0:46:20	確認させていただきたい所何点か
0:46:24	お願いします。
0:46:26	今回ちょっと図を追加された、これも事実確認だけなんですけど、追加された。
0:46:33	246-5 ページで
0:46:39	地形の範囲推定される範囲っていうのは、
0:46:43	示していただいたんですけども。
0:46:47	どうぞ。
0:46:47	例えば
0:46:49	その何ページか前に、
0:46:52	244-2 とかで同じような範囲が、
0:46:57	示してあるんですけども、これとちょっと範囲が、
0:47:01	若干違うように見えるんですけどもこれはちょっとこの両両ページの関係。
0:47:08	についてちょっと説明いただけますでしょうか。
0:47:20	中部電力の森本でございます。
0:47:23	まず 246-5 ですけども、
0:47:28	あいちゃん送電の分布範囲こつから先には

0:47:32	ないないと考えている線をもってですねその中に、
0:47:37	1 断層、
0:47:38	が存在する可能性は否定し切れないよねということで、
0:47:42	ちょっとオレンジ色の
0:47:46	エリアを示しております一方で、244-2 というのは、
0:47:54	それ深部方向からですね、順番に4 地層見ていったときに、
0:47:59	後方回転と深いところの地層と浅いところの地層の向きが陸側のほうにぐるっと回っているような構造が見られるエリアということで、
0:48:11	示していますので
0:48:15	死亡後からのデータがないところにはここ
0:48:21	色をつけておりませんので、
0:48:24	今確認できている範囲を244-2 ではし、効果には確認できる範囲と推定される範囲ということで、
0:48:33	進めていきますと、炉心方向からの変化を見ているというものです。
0:48:36	その違いです。
0:48:40	はい、カイダです。
0:48:42	244-2 は、実際に確認されたところ書いていて、
0:48:49	246-5 っていうのは、確認を実際にこうコアとかで確認されてはないけど、この範囲であれば分布する可能性があるだろうという範囲
0:49:01	ということで、そういう位置付けということでよろしいですか。
0:49:12	はい。
0:49:13	中部含まれてございます。先ほどモリモトからありましたように244-2. の調査結果から、得られている地層の走向傾斜を標高で輪切りにしたものでということで、地層の後方回転がどの範囲に認められるかというものをあくまでも調査結果で示したものでございます。
0:49:31	立法額46 はですね、今ここにな図にも書いてございますけれども、一番初期がどこまであるのかといった観点で整理したものでございまして、
0:49:43	右側につきましては海上音波探査の記録でいいチャンス大きなその反射面の途切れ等はないという範囲から見ると、2kmより沖合にはなからうと。
0:49:54	いうふうに考えているというものでございます。敷地のノ形成により北側につきましては、こちらもあくまでも経営地方地質調査におきまして探すの走向傾斜をはかったものを記載してございますが、1 断層系があるところは基本的に総額を改訂するというので、
0:50:12	いう向斜軸を中心にスプレイ走向傾斜のこの塗膜がGapアミノ上示すと。

0:50:18	いうことでいきますと、この書いた 3km程度より北側につきましては、明らかに南側に話にしたいというと、
0:50:25	ということからすると、この範囲より北にはおそらく弱点はなかろうと。
0:50:30	いうふうに考えたというものでございます。当然につきましては先ほど前の 246-4 ページで書いてございますが、まだ深度ボーリング、
0:50:39	とか反射法の結果でいきますと、探すの下部には砂岩比率の高い探そうが分布しておりまして、上部でほとんど一案総計としては収束しているだろうと同じような規模では連続していないということからすると。
0:50:55	砂岩優勢層砂岩比率の高いサーバーその中では収束しているだろうというふうに我々としては考えまして、
0:51:02	その構造のほうは校舎構造地質構造によって、規制されているとすれば、東西方向には、おそらく 3km程度の分布範囲であろうというふうに推定をしたというものでございます。それは 146 ページの 5 の説明内容でございます。
0:51:18	以上です。
0:51:20	はい、カイダですが他ありましたじゃあの
0:51:23	例えば、南側の 240、最初のページと後のページで、
0:51:32	実際ボーリングで認められたものと 246-5 のほうでは、
0:51:40	音波探査という違いなの判断の違いがあるっていうので。そうかなと思ったんですけど、北のほうは、
0:51:48	同じく地層の後方回転が認められないっていう基準で
0:51:54	線引してあるけど、両者違う北のラインが、
0:51:58	どうして違うのかなというのとこれちょっと今気にはなったんですけども、
0:52:04	244-2 っていうのはあくまでボーリングだけで判断し、案を書いたもので、
0:52:11	46-146-5 っていうのは地質踏査結果も踏まえるところまで
0:52:17	最大来る可能性があるという範囲も、
0:52:20	書いてあるという、そういったことですかね。
0:52:25	支分くらい前でございます。244-2 ページは、あくまでも調査結果ということで、ボーリング、
0:52:34	うち、
0:52:35	あと、ボーリングの僕入れてそこ傾斜かかっているといったデータとですね、あと反射法地震探査と海上音波探査で職制が、ちゃっているところ。
0:52:47	いいすか後かあります。
0:52:51	すいません中部電力アマンでございます。基本的にカイダさんの御理解の通りで、いずれのページも調査結果に基づいて記載させていただいておりますが端的には 246-5 っていうのは、どんなに広くても、

0:53:07	この場合に、
0:53:09	より外まではいってませんよねという形でH断層の分布範囲を示させていただきました。一方で、244
0:53:20	のほうは調査結果に基づいて、少なくともこの範囲はあるという集合体として、より全体を囲っているところか、確実に確認できるところかという見た目の違い。
0:53:35	で、142 は後方回転に限っておりますので、
0:53:41	そういう違いが大きくてもここまで少なくともここまではあるという違いでございます。いずれもで調査結果に基づいて記載しています。
0:53:54	はい。わかりましたの他市確か 246-5
0:53:59	こうなんですかね。その範囲が推定最大分布範囲っていうのは言い方がちょっと別の言い方になってるんでそうだろうなと思い、
0:54:09	だから、ちょっと確認させていただきました。
0:54:13	その点の、はいわかりましたので、ちょっと細かい話なんですけど。
0:54:20	はい、ちょっと間違い。
0:54:23	規制庁ナイトウですけれども、今の 246-5 ページの考え方をちょっともう一度確認したいんですけど。
0:54:32	南側は、
0:54:35	後方回転しているプラス
0:54:40	海上音波の範囲が、
0:54:43	最大分布として考えられます。都市といって、で一方で北側後方回転がお見えなくなったところ、
0:54:54	よりも北はないと評価をしますしてるんですけど、この違いは何なんですか。
0:55:06	中部電力のモリモトですまずあの南側、ごめんなさい陸側の北側のほうから御説明いたしますが、
0:55:17	ちょっとさっき方を私あの回答したときに、陸側の表層部分は南側、
0:55:26	ごめんなさい。逆ですね北側を向いていて、一方で深いところでの大局的な構造で右側南側見ると、
0:55:36	要は北から南かが明確に違うので、
0:55:40	時北側に関しては、
0:55:43	ある程度その地層の後方回転という
0:55:46	キーワード北向きか、南かみ陸向きか任期かというところで、地方の走向傾斜を見れば判断できるというふうに考えています。一方で海側なんですけれども、先ほど反射断面使って相対的に
0:56:03	陸側に傾斜してるんだというご説明しましたが、

0:56:07	やっぱりどうしてもせおんなじ漏えい海側傾斜のデータをもってですね相対的な話をせざるを得ないというところを踏まえすと、
0:56:17	ちょっと陸側に比べると少し後方回転だけで判断するのは制度落ちるかなというふうに考えておりました、
0:56:29	広報改善というキーワードにプラスの融資どう持ってですね、反射面からこっから先は少なくともないよねという範囲を規定するというものでございます。
0:56:45	規制庁ナイトウですけども、よく聞いてもよくわかんないんだけど、想定する範囲として陸側の北のほうは後方回転がなくなれば存在はしないんだというのは何を公共施設から南側だって、
0:57:02	後方回転なくても、海上音波度で見たときに、緑があるから存在すると評価するとしているんですよ、判断基準違いますよね後方回転の範囲を超えて違うデータで見れば、
0:57:17	存在するという評価をしますとしながら、何で北は後方回転
0:57:25	だけで、ここよりも、内陸にはないと判断しているのかっていうその考え方を教えて欲しいんです。
0:57:42	ともにですけれども、
0:57:45	まずH断層系等の改善との関係ですけれども、本店業者の(1)の
0:57:56	活動既工認ところでですね御説明してます。
0:58:00	A0 ページで言いますと、
0:58:07	はい。
0:58:20	255 年の 255 ページとかがそうですね、
0:58:26	同時作動落差同走向っていうところと、このH断層系があるところの地層というのは、必ず後方回転しているということを確認してるよねそれをもって後方回転灯H断層系との関連を見ていると。
0:58:43	いうものです。
0:58:44	その例をまず前提としてですね北側と南側何が違うのかということですけども、要は
0:58:54	ちょっと先ほど言ったこと繰り返になりますけれども後方回転
0:58:59	の人月のしやすさが北と南で違うと。
0:59:03	考えてます。
0:59:06	北のほうは表等の地層が、
0:59:13	陸側北側を向いているので、
0:59:18	敷地内に関してはですね、その北側を向いているところはどこまでかというところを、地表面をかけていけばおのずと
0:59:27	公開というのは見えてくる大局的な構造に違いが見えてくるんですけども、

0:59:32	南側っていうのは、そもそもの内表面の地層が
0:59:41	海側を見て、
0:59:42	深いところと比べることによって高回転の範囲はわかってくるので。
0:59:48	その程度感の問題になってくると。
0:59:51	いうものでございますので、より確実な反射面が連続するところをもって、許可の設置だという違いです。
1:00:12	既設のナイトウですけれども、
1:00:15	何を言われているのかって今ひとつわからないんですけど。
1:00:20	今まで聞いてわかったの北と南では判断基準が違いますってそれでいいですか。
1:00:28	この 246 年後の境界線設定にあたっての判断基準が違います。
1:00:47	既設ですけど、判断基準違うってことを同じ土俵で比べてないって話。
1:00:53	ですよ。
1:00:57	中部臨空イマイです。今モリモトが説明した通りでございます、
1:01:03	オオミナミにつきましてはですね、層厚回転につきましても、この先ほどの 200、
1:01:12	244-2 で示しますように、こういった増改築言い出しさせていただいておりますけれども、その価値の最もを表層付近から海側傾斜してるということで、陸側に比べるとこの改訂の仕方がやはりちょっと
1:01:27	わかりにくいというか、ちょっと識別にくいところもあって、一方でページでいくとちょっと大分前にありますけど 83 ページ。
1:01:38	82 ページをちょっと御確認いただきたいんですけど、
1:01:43	もともと一応早期の右側の範囲ということで、小幡さんの記録、冒頭のほうで説明しておりますけれども、
1:01:51	もちろん例えば 09P-2 測線の斜方に配置解釈書いてございますが、
1:01:57	これ矢印で書いてございます青矢印がですね、少なくともこの範囲より陸側につきましても、一番設計と思われる反射面の乱れが認められると。
1:02:10	一方で、緑の矢印で書いてございますように少なくともここより沖合にはそういったものはないということで、少なくとも沖合 2km より海側に行けば 1 断層系というものはないということは、音波探査の記録に持って説明できるだろうというところが今回の
1:02:26	海側のその位置は側近分布範囲のエビデンスとなっているというところがございます。
1:02:33	ということについて行く側と海側でエビデンスが違うというところは、
1:02:40	おっしゃる通りでございます。

1:02:42	以上でございます。
1:02:44	すみませんモリモトでちょっと補足になりますけど先ほどイマイのほうから説明させていただきました。
1:02:51	81 ページから 82 ページ。
1:02:55	南北測線の反射断面、
1:02:59	になりますが、ちょっと間違い量産から先ほど尺度は違うのかという話がありました。
1:03:07	81 ページなんか
1:03:10	例について御説明させていただきますと、
1:03:12	今ほどですね、古浦のほうで来範囲ここだよと示しているラインというのはこの 81 ページと緑の線。
1:03:20	になります。
1:03:21	一方で、この反射面表層部に乱れから見込み認められてと言っているのは、一応それに関連層の構造がありそうだねと言ったような青のライン。
1:03:32	でして、
1:03:33	業者の番地が大体 1kmないし 2km、
1:03:41	のようはこの間グレーゾーンだという。
1:03:44	もうですので、同じ
1:03:47	このグレーゾーンの外側まで
1:03:52	保守的ににはについては設定しているというものですので、
1:03:58	青のラインで線引するのであれば、
1:04:02	来たと等が上がってくるというふうには考えております。
1:04:31	で、そのすぐプレゼンを説明するにあたって、陸域のほうだと広報会見を使うと。
1:04:37	このよりわかりやすくというか判断基準として明確になるんだけれども、右側になってくると。
1:04:44	評価区分の後方回転だけは何ではなかなか判断がつきづらいということで、右側、ちょっとその 1 個外のゾーンまで、
1:04:53	ラインを設定するという違いになります。以上です。
1:06:22	規制庁ガイドですけども、ずっとね今今、
1:06:27	事業者さんが言ってる話を聞いてわかったのは南側音波測線で明確に水平成層で綺麗になっているところまでを範囲としました北側については、方法破壊点が、
1:06:44	ないと。
1:06:45	判断されるところを境界としました。



1:06:50	と言っている。
1:06:51	理解したんだけどそれでよろしいですか。
1:06:57	以上です。その通りです。
1:07:03	ごろ 1K断層特に北方H系断層は敷地に認められているところについては後方回転をする傾向があるので、後方回転を指定が範囲を
1:07:17	陸側については地形が存在する範囲として決めました。
1:07:22	そういう理解でいいですか。
1:07:27	その通りですと、敷地の中で見たときにこう回転と可燃性メカニズムももつという評価しておりますのでそれをキーワードに
1:07:35	サグチによってたというものです。
1:08:23	規制庁のですけど、で汀線
1:08:26	は、
1:08:28	府深部ボーリング等見ると砂岩優勢層、V層には規模の大きいものが地形としての規模の大きいものは見られないのです。
1:08:42	それが
1:08:47	その汎用左右方向に決めました。
1:08:55	はい、中部電カイマイでございます。
1:08:57	イトウ反射法地震探査等の結果置きますと、その差がEMCSO2、書いたところでほぼほぼ規模の大きい出さなくなるということを踏まえまして、そこでもすね保守的にというか広めにとって、少なくともその砂岩優勢互層も、
1:09:15	探さ非常に高いサーベランス投与超えていたのでISS泥岩泥岩ぽつで優勢互層と書いてますがそこまでは延伸していないだろうというふうに考えますと、
1:09:27	先ほどの 116 ページのこのような遠ざけ行いになるというような推定をしたということでございます。
1:09:35	以上です。
1:09:57	結論が出てですけど。そうすると北側は
1:10:03	地層の傾斜で見ていって、
1:10:06	HPCS方向の作用方向は泥岩優勢これ例が
1:10:13	優勢互層か。
1:10:16	の
1:10:17	ところまで引っ張るけれども北側をそこまでは引っ張りません。
1:10:22	ここも判断基準が違うっていうそういうことでよろしいですね。
1:10:28	はい、中部電カイマイです。その通りでございます。
1:10:42	規制庁サグチですけれども、すみませんちょっと細かいことなんですけど。

1:10:48	確認させてください。前からちょっと出している図なんですけど、200 A40
1:10:55	6-2 ページで今回、
1:10:59	ちょっと追加されて、これはこの図自体を前から出しているんですけど、ここで青と緑の線、線というか、三つそれぞれ反射面の乱れが認められる範囲と増じないってあるんですけど。
1:11:15	汀線直交方向っていうのは、基本的に青と緑、両方あるんでわかるんですけど、汀線に平行な方向で
1:11:26	緑がないないというのか、逆に例えば 09B-5 の測線で終わるんだけど、色がいないところっていうのは、
1:11:39	これは確認されていないのか、それともよくわからないから。
1:11:46	青とか緑とか両方色がついてないのかちょっとどちらなのか教えてください。
1:11:54	人モリモトです。ええと東西方向の測線 09B-567 ですけれども 84 ページから
1:12:05	86 ページにまず測線としては、
1:12:09	載せておりますのでデータとして我々も持ってって確認しているものです。
1:12:18	その中で、いるついてないところというのはもっと端的に申し上げると、よくわからないというのが、
1:12:26	結構連続しているのか、はたまた、
1:12:29	乱れが見られているのかというところはちょっと構造として、
1:12:34	反射記録からもよく見れてないというのが実情です。どうしても公社がですね外側に行くと層理面がやってくる関係ですね、記録としてもよくとれてないというところで
1:12:51	この 146-2 のページなんかをご覧いただきますよくわかりますけれどもやっぱり向斜軸周り、
1:12:57	SAデータ持っているようなところがよく記録として、わかっているそれより外がちょっとよくわからないというものでございます。
1:13:09	はい、サグチですけども一応わかりました少なくともこれは自信をもって緑とかは引けないというそういう形であまりよくわからないっていう、答えだったと思いますので、
1:13:25	すごくまた細かいことで、
1:13:28	恐縮なんですけどこれは
1:13:31	あくまでもちょっと資料の適正化っていう感じで形で 246 ページの 3 ページとかで
1:13:40	その砂岩、

1:13:42	優勢互層ですよ。ここにありますがよってというのがああるんですけど。
1:13:47	で、特に前のほうの
1:13:51	資料で、
1:13:53	前のほうかな。
1:13:55	同じような形で、多分、
1:14:01	えっと断面図がああったと思うんですけど、前のほうの断面図には砂岩優勢互層ってというのが、
1:14:08	例えばですけどね、23 ページとか、こういうところには、
1:14:14	ないので、ここはちょっと統一ってうか整合を図っていただきたいと思ますし、逆に言うと、
1:14:30	範囲がこの辺りですという
1:14:35	います推定をしているんですけど、これはその前提として、まず
1:14:45	向斜軸の中に、ごめんなさい、後者の中に限定されるという、なんか大前提じゃないんですけどそういうのがああるのかなと思ってというのは、その 246 ページの
1:14:58	246-3 ページのところ、背斜側ですよ、歯医者側のこれ層序とか考えたときに、会社側にもこれ、
1:15:08	実は砂岩優勢構造なんていうのは、これはああるんですか、ないんですかと。
1:15:15	いうところをちょっと確認をしたいのと、逆に言うと、
1:15:20	もし砂岩優勢互層なんかがああって、それより上におんなじように背斜軸の背斜のほうにも申し上げああるとするんだつたらですよ、このHが
1:15:33	そうすると実は
1:15:34	この背斜とか向斜とかの、いわゆるその褶曲との関係で、
1:15:40	逆に言うと、1 っていうのは、この褶曲より何ていうんですかね。
1:15:47	所その収集局の時代より古い時代にできたということも実はいえるのかなとは思ったんですけど、ここにそういうことはあえてなくてあくまでも
1:16:00	公社の中にしか
1:16:03	このHという分布しないと。
1:16:05	いう御説明でよろしいんですかね。
1:16:12	はい、中部電力イマイでございます。ために意見ございましたけれども、1 点目のですね、
1:16:18	スタバニュース放送のいい絵がですね、前半になるじゃないかということもでございます。
1:16:23	こちら我々としても分かっていたんですけど、これさらに整合ああるかどうかというのを決定した 4.4 のですね、4.3 か。

1:16:32	地下深部構造で我々が大深度のボーリング調査した結果として、従来下がる と捌けが互層としていたところの下部にこういったものがあるということがわか ってきたということで、その辺、その辺りの資料からこういったさらに薄い暴走と というような図に差し替えさせ、
1:16:50	っていうかそこに切り換えているというのがございました。
1:16:54	たまたま見過ごし的にですねが途中で変わるのはちょっとということでござい ますれば最初のほうからですねこういったように入れまして、
1:17:02	なぜそういったそうした審査かというところをひもづけにするっていうことは、耐 容させていたきたいと思います。
1:17:09	D1と2点目につきましてはですね、これ146ページの3ページを我々の敷地 近傍の調査結果をもとにしておりまして、
1:17:20	こちらにつきましてはですね向斜軸の超えて背斜軸のところは一番の泥岩優 勢互層というふうに書いてございます。
1:17:30	ということにつきましては当御前崎地域の地質図6のほうにもう少し細かい地質 断面図が書いてございますけれども、その配下軸のところにつきましてはより 古い地層時代の地層がですね、出てきておりまして、
1:17:45	一旦泥岩優勢互層になったというのも1回差が出ていく過程が起こっ構想が 出てくるというような構造になっております。
1:17:51	ということでですね、我々が今回の調査でわかったの砂岩優勢互層といったも のはケースも続くのところを見てもそういったものは基本的には背斜軸まで分 布していただくというところは確認してございます。
1:18:04	いうところで、我々といたしましてはやっぱりその、やっぱりその砂岩優勢互層 の中で消滅位置合わせてっていう正断層群がおそらく収束をしていくんだろう というふうに考えて、今回のような範囲を推定したということでございます。以 上です。
1:18:22	サグチですね、一応事実確認だけできましたので廃止背斜のほうは、この砂 岩優勢互層ですか。これはなんないということが確認されているということが一 応確認しました。ありがとうございます。
1:18:39	すいません。もう1点ちょっと。
1:18:43	記載の被災じゃないわ。資料の適正化という観点で、最初に、それらの方から BF4地点ですね。
1:18:54	西トレンチは、敷地内にありますという、確認をさせていただいたんですけど、 この西トレンチってというのが地球の分布、
1:19:09	本当にこれでいいのかっていうので追加で調査をしていただいたと思うんです けど。

1:19:23	それは前から調査をしていただいている部分なんですけど、ごめんなさい、何が言いたいかって言うと、95名選任する。
1:19:34	土佐最後のいわゆる上載地層との関係
1:19:39	やったBF4地点における調査の例えば320ページとか、
1:19:45	の平面図のところにその西トレンチがなかったりとかですね。
1:19:51	で、多分このBF4地点でもう一つ試掘孔トレンチでしたっけ、何かそういうのもあったと思うので、この320ページ以降のBF4地点における調査のところの
1:20:06	図というのはちょっと最新のものにしていただけますでしょうか。
1:20:15	中部電力モリモトでSmithさんご指摘320ページの図ですけども、
1:20:20	イチゼロいつ9断層の選定を平面図で載せていますので、これ船型作るにあたってですねこの中に幾つかトレンチ載せてますけれども、
1:20:34	名称として載せてない西トレンチだとか、
1:20:38	私物トレンチの情報を入れてですねこの図つくっておりますので、ちょっとその辺がわかるように、
1:20:44	させていただきます。
1:20:46	西トレンチですけども、この図で言うと、南トレンチ①
1:20:52	と書いている。文字のオオミナミのあたりに乗ったものをどうBF4地点、現状の時ご確認いただいた道路も変えて掘っているもので
1:21:07	実験徐々にご確認いただいた断層がどこまで続いているのかっていうのをちょっとおったというものでございます。その辺、
1:21:16	船型のデータには反映されておりますが、調査地点として抜けているので、そこはわかるようにさせていただきます。
1:21:27	はい。すみませんよろしくお願ひしますというのは結局150ページとかのブロック試料のところにBF4地点の西トレンチで採取しましたっていうのが出てるんですけど、日BF4地点の意思トレンチって、
1:21:43	どのあたりだったかなと思ってちょっと探したら、ちょっと見当たらなかったんで、ちょっとそこはよろしくお願ひします。
1:21:51	承知しました。
1:21:55	規制庁スガヤですけども、すみません、今のサグチのコメントに関連してるんですけど、この320ページのB4BF4地点の
1:22:07	地図ありますけれども、もし煩雑にならないようであればですね、ここにも、一応敷地の境界を入れておいていただけると、
1:22:17	ほかの資料との繋がりでわかりやすいかと思ひますので、御検討いただければと思ひます。
1:22:24	モリモトます生じました。ちょっとあの、記載の考えさせていただきます。

1:22:42	えっとね。
1:22:44	時っていうのはですけどもちょっとクラリファイしときたいんだけど、敷地
1:22:50	発電所の敷地と中部電力の敷地って、
1:22:55	多分、浜岡って違います。
1:22:59	その辺はちゃんと区別されてます。この図示するとき、
1:23:07	今回し、資料の中に例えば門別つい60。
1:23:18	4ページとかに追加させていただいた敷地
1:23:23	というのは、
1:23:26	発電所の正門寄りすることと
1:23:31	何ですかね。
1:23:36	管理区域外というのも含まれておりますが、
1:23:40	設置許可申請書に敷地境界はここですよというもので載せている。
1:23:48	班員
1:23:50	ですので資機材JISの説明にあたっては、
1:23:55	そこを
1:23:56	の部分を敷地境界として一連して一貫して御説明させていただいてます。
1:24:10	それも敷地として載せる。
1:24:14	あと扱いにさせていただいてるんですけど、ちょっとそこは問題。
1:24:19	問題ないですか考えとしては統一、我々としてはしてるんですけども設置許可申請としてはですね。
1:24:28	管理区域とはちょっと違うというものです。
1:24:33	血压わかりますと。だからさっきのBF4の西トレンチ。
1:24:38	当社の敷地です。
1:24:40	と言われたんだけどそれも発電所敷地でいい。
1:24:44	いや、だからその辺を含めてちょっと
1:24:47	提供、
1:24:48	しっかりと
1:24:49	整理しといて欲しいんですけど。
1:25:14	タケヤマですけど、設置許可上どの昔からある敷地ですわ。
1:25:22	西トレンチとかそうでちょっと御期待に行くと駒田社宅単価いろいろあってあれなんですけど、西トレンチは、
1:25:30	周辺監視区域の外側で実際にはそこに表があったりグラウンドだったりあるんですけど、もともと設置許可を出したときからのちなみにボコッとやっぱりてる
1:25:42	あまり発電所に使ってないんですけど、設置許可芳樹です。

1:25:48	来ちゃいとわかりました。ナカガワ発電所の敷地境界は設置許可で出している発電所敷地境界、
1:25:58	で統一されてるっていいことですね。そうですし、ほぼ今後資料も統一した形で帰ってもらわないと。
1:26:06	混乱が生じるので、そこをよろしくお願いします
1:26:24	規制庁のカイダです。ちょっとまた話先ほどの
1:26:28	サグチが確認してたところに関連してなんですけれども、
1:26:35	246 の
1:26:42	200 集
1:26:49	例えばですね、今 146-4 ページ。
1:26:53	なのでなどで
1:26:56	まず先ほどなんか砂岩優勢の地層のところには、
1:27:01	断層が入っていかないというようなお話があったんですけれども、
1:27:06	これはここに
1:27:08	例えば 246 ページ、6-4 ページで書いてある。
1:27:15	反射断面みたいなのがあって、ちょっとこう、
1:27:19	茶色っぽい色でこう書いてあるところは砂岩優勢互層で、
1:27:24	その中まではボーリング調査とかした結果、断層が確認されなかったという、これは 1 例なんですけれども、
1:27:34	いたるところですべてそうだからっていう、そういう御判断でしょうか。
1:27:42	モリモトです。資料のですね 109 ページ。
1:27:47	もう元に 246-4、
1:27:52	で示している。ちょっと茶色の線というのは書いてます。何かと言うとボーリング大深度のボーリングを掘ってですね実際に
1:28:02	と砂岩比率を見た。
1:28:05	ものをですね、
1:28:09	棒グラフで反射断面に加算って、
1:28:13	ます。
1:28:14	反射の断面で見たときに、比較的その地層があつ全反射面が連続しているところとはちゃんと地質的にも超えてさらに比率の高い探そうとして、
1:28:27	説明できるというところをですね、前前回
1:28:32	審査会合全然盛り込まなかったから回答させていただいてますので、
1:28:38	そういった敷地全域にわたってですね。
1:28:42	東西南北の測線で確認した結果をもって、言っているものでございます。
1:28:48	はい、わかりました。

1:28:50	ちょっとそれとの関係で、後ろのほうで流動化が見られるっていうのが 3、310、10 ページとか以降で、
1:29:05	結果等がし調査結果を示されてるんですけども、
1:29:11	これが、との関係でいくと、これはあれなんですかこの砂岩と砂岩と上の
1:29:18	泥岩の境界に大体見られるっていうちょっとこの両者の砂岩層、これ流動層みたいなやつが、
1:29:26	どこにあたるのかっていうのがちょっとわからわかりづらいんですけども、
1:29:32	これがその砂岩層の境界にあるということなんでしょうか。もしそれをわかるような
1:29:39	図があれば、
1:29:42	確認したいんですけども、
1:29:46	以上 310。
1:29:54	すみませんちょっと変わります中部オオミナミですねと流動層との関係としては 313 ページ見ていただくと。
1:30:03	これ地層の走向傾斜のところで、
1:30:06	流動そうどこにありますかということで褶曲に科医矢印ですね、矢印が書いてあるところが流動的な構造ということで、その近くに家の凝灰岩層としてK6の凝灰岩層がそのちょっと上ぐらいに書いてあるかと思います。
1:30:21	で、その同じような目で見えていただくと 209 ページのほうを見ていただくと。
1:30:28	ちょっといろいろわかりにくいんですけども、凡例の中に敬語経路合計 7 の凝灰岩層示しております、
1:30:36	kA6 は、大飯紫色に当たりますんで、それと対比してみteいただくと、その砂岩優勢互層のすぐ上に当たると、そういう形になっております。以上です。
1:30:49	わかりました。だいたいそういうイメージなんですねじゃあちょっと
1:30:55	313 ページになり、
1:31:00	312 ページでもいいんですけども、何か図から読み取れるように、
1:31:05	関係が読み取れるようにしておいていただけるとわかりやすいかなと思いますんで。
1:31:12	そういった目で見ると、300。
1:31:16	17 ページですかね。
1:31:21	ここにも何か流動的な変形構造というのが書かれています。これがあれですか
1:31:29	この図でいくとどこになるのかちゅうのはわかりづらいんですけども、高齢
1:31:35	あと先ほどの
1:31:37	砂岩のすぐ上位にある。



1:31:39	っていうのはこの図に表現されているのかどうか確認したいんですけども、
1:31:46	はい、317 ページですけど先ほどオオミナミの方から経営六条海岸というちょっと一考指標にある。
1:31:54	鍵層があるよというご説明させていただきました。317 ページの絵で計 6 凝灰岩と同じような深度に流動的な変形構造があるよという御説明をさせていただきましたが、
1:32:08	317 ページ
1:32:12	輪切りになってですねちょうど真ん中辺りに赤い線でそのうち 6 凝灰岩を
1:32:18	書いてます。
1:32:19	ではプレートの対応がちょっとわかりにくいんですけども、大体その辺りにちょっと黒っぽい
1:32:26	はい、ボーリング孔に重ねるようにですね、載せておりますが、
1:32:30	その辺りに
1:32:32	流動的な変形構造が見られているという対応関係でございましてそれがクリーム色で書いている砂岩比率の高い相良層の上位辺りに大体 1 しているという関係でございます。
1:32:49	ちょっと言ったのかとおっしゃった内容の確認なんですけれども、対応患者がとれるようにして欲しいとおっしゃっているのは、
1:32:57	流動的な変形構造が見られる深度と砂岩、さらにその高さからその振動対応関係がわかるようにして欲しいという理解でいいでしょうか。
1:33:10	はい、そうですね。
1:33:13	例えばですねさっき 313 ページとか 12 ページとかに砂岩優勢のところとそうじゃないとこの協会が掛かるようにしておいていただきたいとそういうことです。
1:33:29	はい、承知いたしました。
1:33:32	はい、カイダですので、今の 17 ページの 317 ページの御説明で、
1:33:38	これ見比べてみると先ほどの 209 ページとかは、
1:33:43	計 6 っていうのがほぼ
1:33:47	茶色っぽいところとその上位の
1:33:51	砂岩優勢じゃないところとの境界になりそうなふうなところに書いてあって、
1:33:56	317 ページだと。
1:33:59	必ずしもそうじゃなくて結構上のほうに、
1:34:03	ピンクの線が書いてあるようにも見えてしまうんですけど。
1:34:07	このピンクの線の下っていうのはこれ、
1:34:11	何々論なんですかね、今、紫がかぶっちゃってもわかりづらくなってるんですけども、

1:34:17	ここは元は、
1:34:20	裏時は、
1:34:22	黄土色なんですかねそれとも緑色なのでしょうか。
1:34:30	バッチグループ内でございます。ここちょっと判例が
1:34:34	受注ぐらいありましてもともとそのAh室の凡例の上にですね、半年とか見ていただきますと、交付回転が見られる部分が黄色で収束していく部分が紫
1:34:47	認められる部分が緑ということで、もともとなる地層分布の上にこの管理を透明アプリ重ね書きしているもんですからちょっとそのように見えてしまいますけれども、認識としては先ほど調査結果と一緒に、さらに薄い5層の上部のところK6が、
1:35:04	当てるということでございます。ちょっとあの凡例と図を重ねてしまったところでちょっとそこがわかりにくくなっているかなとは思いますが。以上です。
1:35:15	はい、カイダです。わかりました。そういうことで確認しました。
1:35:22	ちょっとそれとあと全く別の観点で資料の適正化でお願いしたいところがあって300。
1:35:31	59ページ。
1:35:33	です。
1:35:35	59年
1:35:38	個人違ったの。
1:35:42	63ページから363ページに、
1:35:46	これ論文を掲載して各地点がここに重ね書きしてあるんですけど。
1:35:53	ここに
1:35:56	BF14と発電所の位置が書いてあるんですけども、ここに比木2地点っていうのを、
1:36:04	同じようにしていただきたいんですが、
1:36:08	よろしいですか。入れていただきたいとこの図で確認なんですけども。
1:36:13	BF4に今ある道路っていうのは、
1:36:17	株、すぐ規定部分の道路っていうことなのでここで言う1とか2ぐらいの時代のものっていうふうに考えられている。
1:36:29	ということでよろしいですかってちょっとその2点だけお願いします。
1:36:38	中略イマイでございます。1と比木2地点のいるいい点に関しましては拝承いたしましたと。
1:36:46	はい。
1:36:49	ちょっと確認してですね、この範囲でちょっと減り方がちょっともう1回確認させていただいて配慮であれば入れるようにいたします。

1:36:56	2 点目につきましてはおっしゃる通りですね、BF4 地点で来定義があるということと標高的なものを踏まえますと、おそらくこの杉山ほかの図で言うところの一番から 2 番、特にバターのところ、ちょうど図的にもですね。
1:37:13	大体合っておりますので、おそらくこれ、この辺りの時代かなというふうに考えております。以上です。
1:37:20	はい、わかりました。じゃあの比木 2 地点がの点はよろしくお願いします。
1:37:28	以上です。
1:37:35	規制庁タニです。ちょっとこれを考え方教えてくださいってという話で、前のヒアリングでももちろんいいと言ったことなんですけどね。289 ページで、
1:37:49	まず、前回の会合です、この 289 ページの解釈というかその流動的な変形構造が著しい区間は、今高流動しててそれが固まっているように見えて古い時代へ未固結の時っていうのを、
1:38:05	考えたんです。それに対してこの際流物質っていうのはやわらかいので、できて間にタイムラグがあるんじゃないのかっていうことで、会合のときに入った議論をした紙ですねその時させていただいたと思うんですけど。
1:38:22	その時にヒサマツさんはいろいろ答えていただいたのか、その内容か、観察事実から、
1:38:29	そう、そうじゃありませんっていうような話を断層面はうねって平面的じゃないから、繰り返し動いていないよとかそういった説明されたと思うんですけど、それが 283 ページが、
1:38:43	前回会合で答えられた内容が
1:38:46	ここにまとまってるといふような理解でいいですか。
1:38:54	モリモトです。タニさんおっしゃる通りです。まず流動的えっと、
1:39:00	母管の部分今固まってる部分を見ても、
1:39:06	今やわらかいままのところを見てもやわらかいときにできたという証拠し商工が見つかっているというのが 283 ページで言ってることでこれは前回御説明させていただいた内容。
1:39:19	Sで今回それをプラスアルファして、
1:39:22	そのあと柔軟なところだけで動いてないかという観点でチェックしたのが 284 ページの内容、
1:39:31	です。
1:39:32	プラスアルファしてその柔軟なところだけ使って何か動いてないよということは可能か追加で確認させていただいております。
1:39:41	はい。ありがとうございますタニです。そこでね、説明しているのがなく、岩盤において活動した断層等、

1:39:52	繰り返し活動した履歴を持つ断層、こういったものと比べましたってことなんですけど。
1:39:58	このことが
1:40:01	まあ、繰り返しとかいうのを否定することためにこういったことをされてるんですけど、何ていうんですかね。
1:40:09	タイムラグがあったのか、なかったのかと。
1:40:12	ということについては、
1:40:15	流動的な区間とさ細流
1:40:19	物質の区間。
1:40:21	歳入物質を伴う断層面ですね。
1:40:24	ここのタイムラグがあったかなかったかとかいう、
1:40:28	そういう話はここではされていないんですか。
1:40:35	またですけども 283 ページ再掲のスライドでもともとどこでマツスエてるかっていうと、200、
1:40:44	69 ページ。
1:40:46	になります。
1:40:49	ここ何を見てるのかっていうと、一番そっちへっていうのはどういう時期にできたんだろうという目で、
1:40:58	まずは岩盤との対比を行っているとなんかにできたときの性状とは違うねというのを母岩でもそうだし今やわらかいもの際力質問相談するというのを確認。
1:41:10	していますので、ここで違うねというのは見た上でさらに
1:41:16	273 ページ。
1:41:22	じゃあ 1 断層系とよく似た性状を持つ断層でどういう地層でできるんだということころを、
1:41:28	名母岩の
1:41:29	正常、それから、
1:41:32	断層粘土質の性状なんかを比較したものが 273 ページになりまして、
1:41:41	ここでも、一番総医研性状と似ている断層というのは軟らかい地層でできた断層と、
1:41:47	いうふうにされていますので
1:41:52	まずタイムラグはあるのかないのかっていう検討はこの二つ目で来てると思っては、もう見ても裁量部数のところで見ても、このかたいところできたと落ち方ができたのとは違うし、軟らかいところできた断層と似ていると。
1:42:08	いうところを踏まえると、一連の構造としてある限られた時間でできたという評価をしています。それはここでの検討内容です。

1:42:27	規制庁タニですけど、なんか会合でまた紙がその軟らかいところ後出てきたっていう解釈の違いがちょっと
1:42:37	あるんじゃないのかと、あと出てきた。
1:42:41	のかどうなのかっていうことに対して、なんていうんですかね。
1:42:45	時太陽光やわらかいところと、岩盤じゃない期間にできたっていう説明だとか、繰り返し動いていないっていうような説明だとか、そういった説明に話がちょっと変わっているような感じが私はしてて、
1:43:02	ここで、
1:43:04	例えば 283 ページだったのは、
1:43:06	じゃあ岩盤岩盤になる前には流動化したところと、
1:43:13	歳入物質のところ、
1:43:15	そういったところを後でできたと考えても、
1:43:19	おかしくないのかどうなのかとかそういうところを聞きたいんですけど。
1:43:26	ちょっと聞き方悪いですかね。
1:43:30	モリモトエスちよちよつとこの点は、なかなか非常に重ねても、
1:43:36	かみ合わないなと思って言うんですが、
1:43:43	というところがあってそこからの 280。
1:43:48	7 ページの
1:43:52	2 というスライドを追加。
1:43:55	させていただきました。今ほどの
1:44:01	はい、はい。その辺の説明はだから、283 ページから 200 円何ページかな。
1:44:10	287 ページの間に書かれていることで説明していますよっていうのが今のお考えということで理解しましたけどそれでいいです。
1:44:20	はい、わかりました。
1:44:41	アマノですねと。タニさん、
1:44:46	百瀬審議の前回会合でタニさん御指摘いただいた背景には学んでサービスのところだけ、
1:44:54	軟らかいままなのかというIKが
1:44:58	あるんじゃないかなと思ってますんで。
1:45:01	そういう観点ですね
1:45:04	固まったもの。
1:45:08	玉内でイトウ動いたらどうなのかと。
1:45:12	いう仮定だとか、
1:45:14	繰り返しは一番懸念されるのが、

1:45:20	が固まって以降は最近動いたということかと思imasのでそういった形跡がないかということで、
1:45:30	岩盤中で動いた断層というの比較であったり、
1:45:35	何回も、その断層面だけを使って動いた断層との比較だったり、今回やって、
1:45:42	まず、そういう位置付けの検討でございまして、そういったものは性状が違うところを
1:45:50	資料化していおります。
1:45:56	規制庁タニですはい状況確認できましたと。
1:46:20	規制庁タニです。ちょっと私
1:46:23	聞き漏らしたのかもしれないんですけど、246 ページの 4 で 246-4 ですか。
1:46:33	H断層系の変位がさ、砂岩比率の高い
1:46:37	魚層内で収束してというようなことを考えているということなんですけど、これってなんか砂岩比率が高くなったらH断層系がなくなるっていう
1:46:50	なんか観察事実を基に書かれてるんだと思うんですけど、調査結果をもとにです、その背景っていうか、なぜ砂岩比率が高くなると、
1:47:02	H断層系がなくなっていくのかみたいな考察というかメカニズムというか、そういったものは何かお考えありますか。
1:47:17	もういすか。モリモトですけれども、304 ページ。
1:47:24	2、
1:47:28	ご意見として山田ほか 2019、これ弊社のんが、
1:47:34	やっているような内容、
1:47:38	になりますか。
1:47:40	これらのスライドとしては、時Ⅲ、
1:47:45	溶接地すべりだということを説明するところに入れてますか。
1:47:49	数値計算です、
1:47:53	地層が堆積時から徐々に硬くなっていくところ。
1:47:58	シミュレーションしながらですねその中で、ちょっとどの傾けていくという検討をやってまして。
1:48:04	この
1:48:05	次の 2 ポツ目のところにありますけど。
1:48:12	浅部の
1:48:14	の変位というのが新聞とこで、不明確になってるところが、
1:48:23	シミュレーションの確認できておりましてこの辺の
1:48:27	本件後もですね参考にしながら、そういった
1:48:32	この考察を行ってというものでございます。

1:48:37	中部電力イマイです。例えばモリモトの説明、これは解析的な検討でもそういったものが再現できているということで支社の方にSSに相当するものを入れると、このような正断層が形成されてその中で取得していくと。
1:48:51	ということでございます。この実粟ページの 303 ページもでございますようにですね、特にこの絵の右側にあるレベルのポンチ絵でございますけれども、
1:49:02	株のこういうストラクチャーと言って流動層があると、上のブロックが回転してというのが結構海外では割とこういった事例はよくわかって調べる知られているということもございまして、こういったような知見を踏まえてと。
1:49:15	ということですね、またちょっと回り戻りますけど例えば 222 ページを見ていただきますと、
1:49:22	1 と販社法人探査と大深度ボーリングのボアホールの結果で底を傾斜を重ね描いておりますけれども、
1:49:31	その状況の 1 蓮オガワによる冷夏道のところは良い地層が後方回転していて、
1:49:38	それが株主相模制度のほうに入ってくると徐々に徐々にその回転が収まっていった最終的に海側傾斜戻るということで、かなり挽回によってですね、こう回転が収まっていくということも踏まえると、おそらくその差が優勢層の中で収束していった、株の泥岩層には、
1:49:56	いいえにしていないというふう考えたというものでございます。以上です。
1:50:02	規制庁タニです。まあそういった考察されている残りましたって、ちなみに佐賀いう砂岩が多いところっていうのは、今の説明でいったら国家たい。
1:50:12	ところに当たるんですか。
1:50:13	いや、やわらかいところに当たるっていうことなんですか。
1:50:17	はい、中部電力イマイです。軟らかいところに地層が砂岩優勢層くそと当たるというような理解でございます。
1:50:26	規制庁たるけどあそんあの説明起こりました 303 ページのこのピンク色で書いてるようなところがその砂岩優勢の互層の区間なんだという説明ですね。
1:50:38	はい、わかりました。
1:52:16	規制庁の伊藤ですけども、ちょっと違う話で確認なんだけど。
1:52:20	これね。BF4 とBF1 と比木 2 地点の比較をやっている中で、
1:52:28	時救急傾動出したりとかしてじゃないですかプロットしていると思うんだけど。
1:52:34	これの意思を測定したままで立ってもらってました。
1:52:42	モリモトまず学ばれたいいわゆる長計単体の数字かと思えますけれどもそちらについてはですねオープンパラオだし。

1:52:51	できておりません写真でこれを諮ったよという写真だけ示しているという状況でございます。
1:53:03	規制庁側ですけれども補足資料という形で構わないので、ちょっとこの医師、医師の歴の
1:53:11	測定データっていうのはちょっといただけませんか。
1:53:15	モリモトさんのすぐ出せます名護屋質問あります。
1:54:14	規制庁ナイトウですけど、ちょっと確認えっとね今回EとH系の場所で推定範囲として示してもらったんだけど。
1:54:23	これ例とBF1 地点もH系の
1:54:29	存在する範囲に入ってるっていうそういう理解でいいですか。
1:54:37	モリモトですね、BF1 地点の直下にあるかどうかは別として範囲には入っているというものです。
1:54:49	わかりました。ありがとうございます。
1:55:46	規制庁のスガヤですけれども、
1:55:50	えっとですね、今日のヒアリング踏まえて、若干適正化される場所もあるっていうことと、あと今言ったその生データですかね、歴系統の生データも出していただけのことですので、ちょっと
1:56:06	できましたら、早めに出していただければと思いますので、
1:56:10	ご連絡いただければと思いますのでよろしくお願いします。
1:56:15	中部電力アmanoでございます。承知いたしました。大至急
1:56:20	資料適正化してお出ししたいと思いますのでよろしくお願いいたします。
1:56:53	規制庁のスガヤです。ではあの直った段階でご連絡いただければと思いますのでよろしくお願いします。
1:57:02	中部電力アmanoでございます承知いたしました。
1:57:09	規制庁のスガヤです。それではヒアリング、これで終了したいと思います。ありがとうございます。
1:57:16	ありがとうございました。